特定非営利活動法人
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

2015年度　活動報告書

〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-21-12-103
電話：03-5937-4040　　FAX：03-5937-4043
WEB ： http://www.janpplus.jp　　E-mail ： info@janpplus.jp

も　く　じ

JaNP+の活動目的とミッション　・・・・・・・・　２

HIV 陽性者スピーカー派遣　・・・・・・・・　４

HIV 陽性者交流会　・・・・・・・・　７

Talking about SEX　・・・・・・・・　９

研修　・・・・・・・・　１０

調査・研究　・・・・・・・・　１１

日本エイズ学会参加支援スカラシップ　・・・・・・・・　１３

国際ネットワーク　・・・・・・・・　１６

メディア対応　・・・・・・・・　１８

アドボカシー　・・・・・・・・　１９

広報・事務局ほか　・・・・・・・・　２０

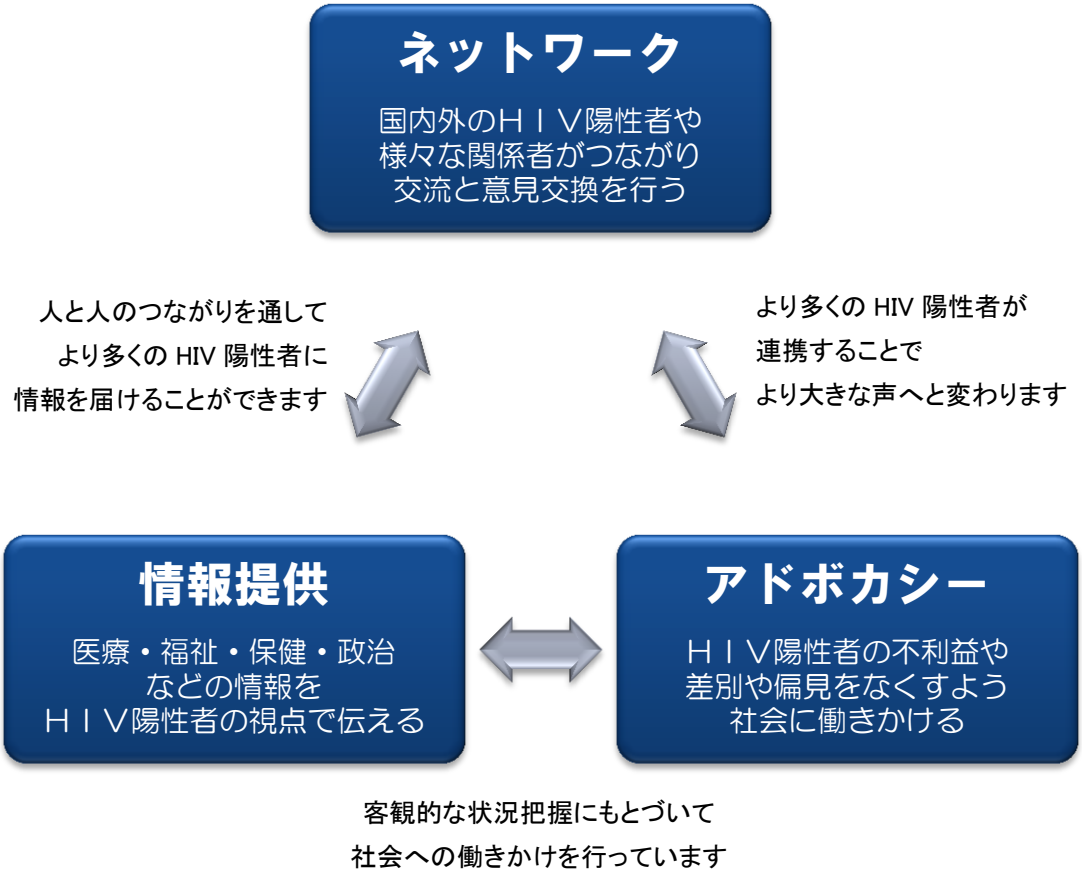
寄付・助成　・・・・・・・・　２１

活動目的とミッション

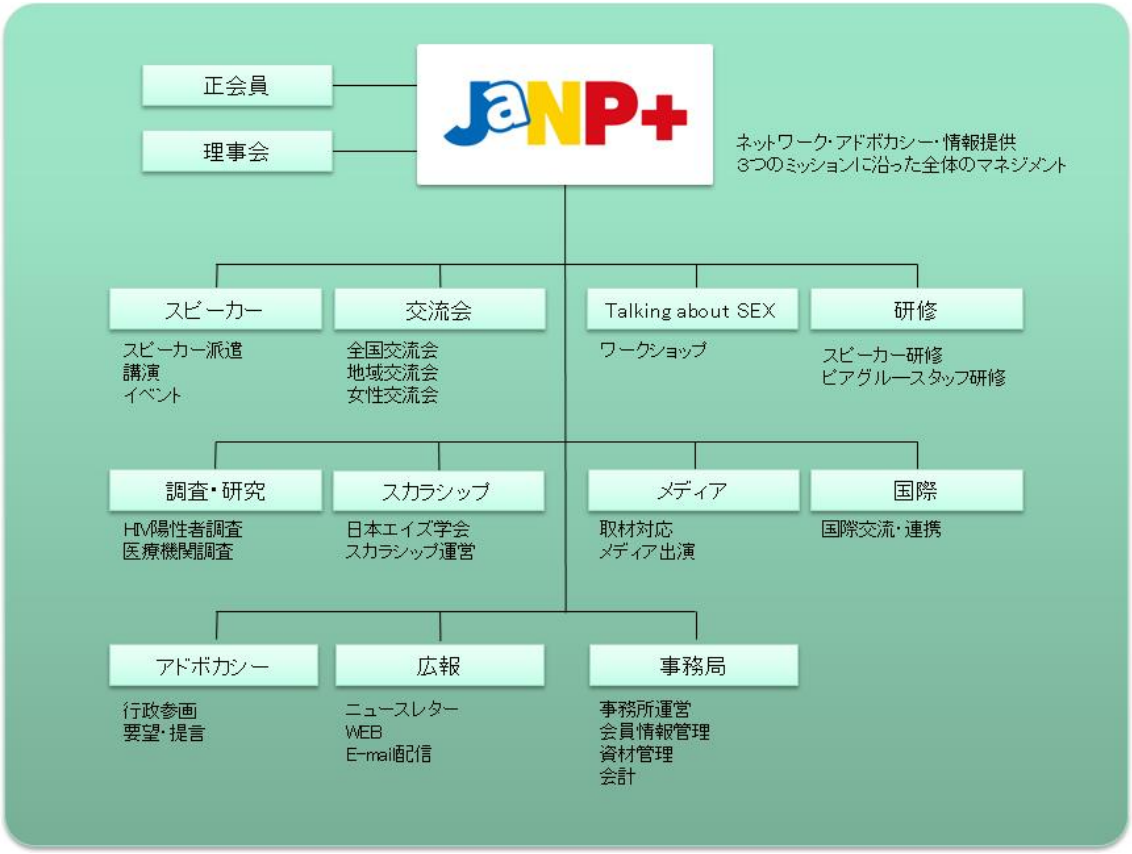
JaNP＋の活動目的

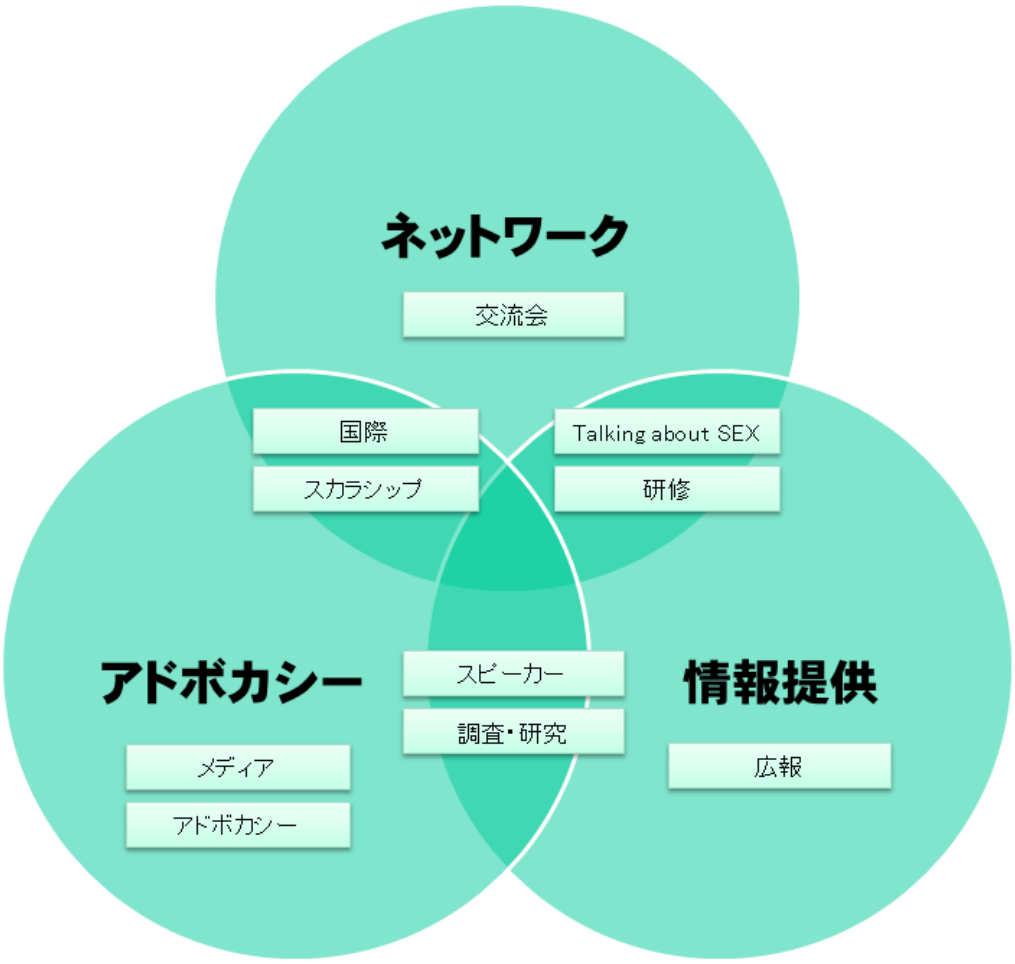
HIV陽性者が秘密を抱えることもなく、社会的な不利益を受けることもなく、
HIV陽性者として、自立したあたりまえの生活ができる社会を目指します。

JaNP＋の3つのミッション



各プロジェクトとミッションの位置づけ





HIV陽性者スピーカー派遣

HIV・エイズに対するイメージから、HIV 陽性者が自分の感染の事実を周囲の人に伝えることには困難が伴います。その一方で、HIV 陽性者が「顔のある一人の生活者」として認知される機会がなければ、HIV は多くの人にとって「他人事」のままであり、その結果としてイメージのギャップから生まれる差別や偏見は、いつまでも解消されない、そんな悪循環が続いてしまうでしょう。

多くの HIV 陽性者が、自分のできる範囲で身近な人たちに HIV 陽性であることを伝えています。それによって、伝えられた人は初めて HIV を「身近な問題」として認識しています。それと同時に、HIV 陽性者がいきいきと自分らしく暮らしている姿そのものが、こうした悪循環を断ち切る１つの力にもなっているのです。

こうした小さなカミングアウトを大きくネットワークすることで、リアリティを広げていく取り組みが、HIV 陽性者スピーカー派遣です。自身が HIV 陽性者であることをオープンにできる人は決して多くありませんが、JaNP+のスピーカーは、テレビや新聞などのメディアだけでなく、講演会や研修、少人数の集まりなど全国各地の様々な機会に、「等身大」の語りを提供していいます。

派遣実績

2015 年度は、計 22 件の派遣依頼に応じ、10 名の HIV 陽性者スピーカーが担当しました。

＜聴講者の述べ人数＞

2,081 名　（メディアは除く）

＜依頼主の属性＞　（件）

NGO、NPO	8
医療機関	2
企業	2
教育機関	3
行政	5
メディア・その他	2

＜地域＞　（件）

福島	1
山梨	1
群馬	1
埼玉	1
東京	11
神奈川	1
大阪	2
広島	2
山口	1
（メディア）	1

＜聴講者の属性＞　（件／重複あり）

医療職	8
保健所職員	9
心理職	4
行政職員	7
NGO、NPO	7
学生	10
教員	7
HIV 陽性者	3
一般市民、その他	12

＜派遣実績詳細＞

日付	依頼主体	催事名
2015 年 6 月 18 日	広島文化学園大学	レッツトーク 「エイズの患者さんと話してみよう」
2015 年 6 月 19 日	公益財団法人エイズ予防財団	HIV／エイズ基礎研修会
2015 年 7 月 6 日	大阪医療センター	平成 27 年度　HIV/AIDS 看護師研修 初心者コース
2015 年 7 月 12 日	NPO 法人 akta	akta 活動報告会
2015 年 7 月 29 日	国立保健医療科学院	平成 27 年度エイズ対策研修
2015 年 8 月 7 日	AIDS 文化フォーラム in 横浜	AIDS 文化フォーラム in 横浜
2015 年 9 月 7 日	大阪医療センター	平成 27 年度　HIV/AIDS 看護師研修 初心者コース
2015 年 9 月 18 日	NPO 法人 akta	デリバリーボーイズ　ボランティア研修会
2015 年 9 月 22 日	カトリック HIV/AIDS デスク	第 39 回カトリック正義と平和全国集会 2015 東京大会
2015 年 9 月 29 日	太田市立太田高等学校	保健講話
2015 年 10 月 1 日	一般社団法人 部落解放・人権研究所	第 28 回（2015 年度）人権啓発東京講座
2015 年 10 月 19 日	鳥居薬品株式会社	HIV 陽性者スピーカー講演会
2015 年 11 月 11 日	山口県山口健康福祉センター	自分らしく生きる～HIV と共に～
2015 年 11 月 12 日	読売新聞	医療サイト「ヨミドクター」
2015 年 11 月 22 日	明治大学　横田ゼミナール Human Library	Human Library
2015 年 11 月 29 日	世界 AIDS・DAY 記念礼拝 実行委員会	第 21 回　世界 AIDS・DAY 記念礼拝
2015 年 11 月 30 日	呉市保健所	講演会 「自分らしく生きる～HIV とともに～」
2015 年 12 月 3 日	ヴィーブヘルスケア株式会社	世界エイズデー社内講演会
2015 年 12 月 7 日	山梨県福祉保健部健康増進課	医系学生のための エイズ知識普及啓発講習会
2016 年 2 月 9 日	郡山市保健所地域保健課	エイズ対策研修会

2016 年 2 月 26 日	JICA	平成 27 年度課題別研修「HIV/エイズ予防および対策～MDG6 達成にむけて～」
2016 年 3 月 20 日	特定非営利活動法人パープル・ハンズ	高齢期の性的マイノリティ課題を知るつどい

今後に向けて

派遣機会の拡大のために、今後も HIV 陽性者スピーカー派遣活動に関する各方面への広報により一層努めたいと思います。2015 年度はスピーカー派遣の案内チラシ頒布を予定していましたが実施できませんでしたので、次年度に実施します。

HIV陽性者交流会

JaNP+の活動の基盤となるのは、HIV 陽性者のネットワークづくりです。しかし、HIV 陽性であることをオープンにしづらい日常の中で、他の陽性者と知り合うことは難しいものです。そのため JaNP+では継続的に HIV 陽性者の交流の場を提供しています。

＜開催実績＞

日付	催事名	開催地域	参加者数※
4 月 11 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	10 名
5 月 9 日	ジャンプ！交流会	東京	6 名
6 月 13 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	13 名
7 月 4 日	HIV 陽性者交流会（共催）	福岡	9 名
8 月 8 日	ジャンプ！交流会	東京	11 名
8 月 22 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	9 名
9 月 26 日	HIV 陽性者交流会（共催）	福岡	7 名
10 月 10 日	HIV 陽性者交流会（共催）	沖縄	5 名
10 月 10 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	11 名
10 月 17 日	ジャンプ！交流会	東京	11 名
11 月 29 日	全国 HIV 陽性者交流会	東京	34 名
12 月 12 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	14 名
12 月 26 日	HIV 陽性者交流会（共催）	福岡	7 名
1 月 9 日	ジャンプ！交流会	東京	9 名
1 月 17 日	HIV 陽性者交流会	広島	12 名
2 月 13 日	ジャンプ！交流会	東京	8 名
2 月 13 日	HIV 陽性者交流会（共催）	札幌	14 名
3 月 20 日	HIV 陽性者交流会（共催）	福岡	7 名
3 月 27 日	HIV 陽性者交流会	広島	6 名
4 月 16 日	ジャンプ！交流会	東京	8 名

※参加者数はスタッフを含む

- HIV 陽性者交流会　　HIV 陽性者限定の交流会
- ジャンプ！交流会　　HIV 陽性者および JaNP+の各種会員による交流会

2015 年度は、未来支援委員会（旧・子どもの未来支援委員会）の助成を受け、全国の HIV 陽性者当事者団体・支援団体と共催で全国で交流会を開催することができました。

また都内では、ジャンプ！交流会を通じて、予算やスタッフの負担が少ない方法で、継続的な交流の場を提供しています。11 月 29 日の全国 HIV 陽性者交流会は、東京都エイズ啓発拠点事業として実施しました。

今後も、これまでに培ってきた全国の HIV 陽性者のグループ・個人とのネットワークを活かし、全国で HIV 陽性者の交流の場が提供されるよう取り組んでいく予定です。

Talking about SEX

HIV に感染しても、多くの場合は治療によって健康をコントロールし、ウイルスも抑えることができます。また、多くの HIV 陽性者は、感染を予防する方法も知っています。

それでも、HIV 感染という経験によって「セックスや恋愛にどう向き合っていいのかわからない…」という思いを抱いている人は、少なくありません。パートナーシップを築きたいと思える相手とめぐりあったときにも、HIV は大きなハードルになっています。

本来、HIV 陽性であるかどうかに関係なく、人間にとってセックスは生き方にもかかわる大切な問題です。しかし、セックスに正面から向き合って考える機会は、日常生活の中では見つけにくいもの事実です。

このため JaNP+では、HIV 陽性者の立場からセックスについて考えるプログラム「Talking about SEX」を展開しています。

＜開催実績＞

日付	開催地域	参加者数
3 月 19 日	福岡	5 名
3 月 25 日	東京	7 名

プログラム

- 歓迎・趣旨説明、グランドルール
- 連想ゲーム
- 自己紹介
- セックスのメリットとデメリット
- どこまで知ってる？性感染症の知識テスト
- データでわかる！ぼくらのセックス事情
- フリートーク、振り返り
- クロージング、アンケート記入

※参加者数はスタッフを除く

福岡では Not Alone Fukuoka と、また東京では NPO 法人 akta と共催しました。今後も継続的に提供できるよう、引き続き他団体との共催によって実施していくことを検討しています。

研修

JaNP+はその名称のとおり、地域を限定せず日本全国を対象に活動したいと考えています。しかし、日々暮らしている地域において「HIV 陽性者が HIV 陽性者として活動する」ということには、様々なハードルがあります。また、大都市圏以外ではセルフヘルプ活動を行うピアグループが存在しないために、実際の活動に触れたり学んだりする機会がありません。

このため JaNP+では、HIV 陽性者によるセルフヘルプ活動のために必要なノウハウや知識を提供するための独自の研修プログラムを提供しています。

2015 年度は研修事業を実施できませんでしたが、2016 年度は、未来支援委員会の助成を受け、「HIV 陽性者ピアグループ研修」を実施する予定です。

調査・研究

活動の裏付けとなる当事者の声を客観的に把握するためには、説得力と客観性を得るための調査・研究が必要です。これまで JaNP+では、独自の調査のほか、研究者や企業が行う調査・研究への協力を行っています。

調査プロジェクト「Futures Japan」への協力

JaNP+では、HIV 陽性者の「自分らしくより健康的な生活の実現」と「暮らしやすい社会環境づくり」を目的とした当事者参加型のプロジェクト「HIV Futures Japan プロジェクト」に賛同、協力しています。

http://survey.futures-japan.jp/

http://futures-japan.jp/

このプロジェクトには、全国から 19 名の HIV 陽性者が参加する「レファレンスグループ」が設置されています。JaNP+は、これまでの活動によって培ったネットワークをもとに、前年度に続きレファレンスグループの運営を担当しました。また代表理事の高久はプロジェクト全体の意思決定を担うステアリンググループのメンバーとして参加しています。

2013 年 7 月 20 日～2014 年 2 月 25 日まで行われたアンケート調査では、913 名の HIV 陽性者（有効回答分・国内在住者のみ）の回答を得ました。

2016 年度は、第 2 回目となる調査の実施に向けて、レファレンスグループや研究者との検討を行う予定です。

＜活動実績＞

日付	内容
5 月 2 日	ステアリンググループ会議
6 月 27 日	レファレンスグループ会議
8 月 29 日	研究者グループ会議
4 月 19 日	ステアリンググループ会議
4 月 23 日	レファレンスグループ会議

その他

2015 年 10 月 13 日にコミュニティセンターakta にて行われた、PrEP（抗 HIV 薬の事前服用による暴露前感染予防）についての学習会に参加しました。

日本エイズ学会参加支援スカラシップ

HIV の医療には、患者が自ら積極的に参加する先駆的治療の実現が求められます。しかし、学会で示される新たな知見や様々な意見に、HIV 陽性者が触れるきっかけは少ないのが実情です。

JaNP+は他団体との協働により、HIV 陽性者の治療意欲向上と自立ならびに社会参加の促進を趣旨とする「HIV 陽性者参加支援スカラシップ委員会」を設立し、HIV 陽性者の学会参加を支援するスカラシップ（学会参加費補助）を行うことで、全国の HIV 陽性者が学会に参加する際の経済的・地理的・心理的ハードルを下げることで、エイズ対策への当事者の参加を促してきました。

地域を越えて当事者と専門家との交流と意見交換を促すとともに、当事者の側から視点や熱望を伝え、また当事者自身も HIV 感染症に関する知見をさらに深め、それぞれの地域での社会活動にも還元されています。

2015 年度、スカラシップ委員会の事業は一般社団法人 HIV 陽性者支援協会に継承され、JaNP+は引き続き協力団体として事務局を担いました。

第29回日本エイズ学会へのHIV陽性者参加支援

＜事業概要＞

目的	全国の HIV 陽性者 50 名程度（予定）の学術集会参加登録費および交通費・宿泊費（近距離除く）を一部負担し、陽性者の学会参加を促進する。
応募資格	・ HIV 陽性者であること ・ 第 29 回日本エイズ学会学術集会において開催されるシンポジウム、セミナー、演題等の 2 つ以上のプログラム（うち 1 つは、12 月 1 日（火）14:40～16:10 開催の公開シンポジウム「HIV 陽性者の日本エイズ学会への参加～スカラシップ・プログラム 10 周年を振り返り」）に参加可能であること ・ 他から交通費・宿泊費などの助成を受けていないこと ・ 学術集会終了後、2015 年 12 月 20 日までに参加した各プログラムに関するレポート（計 2 点）を書いて提出すること
スカラシップ支給額	応募動機等についてスカラシップ委員会で審査の上、在住地域により以下の金額を支給する。 ・ 関東地方在住者　10,000 円 ・ 東北・北陸・中部・近畿・中国地方在住者　30,000 円 ・ 北海道・四国・九州地方在住者　50,000 円

応募者数	47 名
支給者数	39 名
支給総額	1,120,000 円
	※　第 29 回日本エイズ学会会長・岡慎一氏のご厚意により、当法人に学会参加証 40 枚を無償でご提供いただきました。このため、上記金額には学会参加証（10,000 円相当）の現物支給が含まれます。
寄付総額	650,000 円
	アッヴィ合同会社　一般財団法人化学及血清療法研究所
	MSD 株式会社　株式会社アルバコーポレーション
	公益社団法人千葉県医師会、鳥居薬品株式会社
	カネコソウ様　シイナトモコ様　（順不同）
後援	厚生労働省　日本エイズ学会　日本製薬工業協会　（順不同）

参加報告書の発行

このスカラシップを通じて第 29 回日本エイズ学会に参加した HIV 陽性者によるレポートをまとめ、報告書 1,000 部を発行しました。報告書は、エイズ治療拠点病院、各都道府県および中核市、エイズ NGO 等に送付しました。また、報告書はスカラシップ委員会の WEB 上でも公開しています。

URL：http://www.janpplus.jp/project/scholarship/

学会で発表された様々な発表や取り組みに対して、HIV 陽性者が感じたリアルな意見を知ることができる内容になっています。

公開イベント「HIV陽性者による第29回日本エイズ学会　参加報告会」 開催

学会に参加した HIV 陽性者の声をよりリアルに声を伝える場として、参加報告会を開催しました。実際に学会に参加した陽性者 3 名から、それぞれ学会参加を通じての感想や意見を発表しました。

HIV 陽性者の来場が多く、学会に参加できなかった人、学会での発表内容に関心がある人、翌年のスカラシップ申込を検討している人、自身も学会に参加して他の陽性者がどう感じたのかを聞きたかった人などが多かったようです。

＜開催概要＞

開催日時	2015 年 2 月 21 日（日）　13:30～15:30
場所	NOF 新宿南口ビル セミナールーム C（渋谷区代々木 2-4-9）
主催	一般社団法人 HIV 陽性者支援協会
内容	・　第 29 回日本エイズ学会参加支援スカラシップ　実施報告 高久陽介（JaNP+） ・　学会参加者による報告　～HIV 陽性者から見た日本エイズ学会～ スカラシップ受給者 3 名 ・　当事者による学会への参加の意義 生島嗣（ぷれいす東京）
来場者数	29 名　（出演者・スタッフ除く）

国際ネットワーク活動

エイズはマラリア、結核と並んで世界三大感染症と呼ばれ、「HIV 陽性者があたりまえに生きることのできる社会」の実現は、日本だけでなく世界の HIV 陽性者にも共通する目的です。

世界的な不況が長引く中、日本のみならず諸外国においてもエイズ対策への資金提供や予算確保は厳しい状況にありますが、こうしたときこそ国と言う枠組みを超えた密接な協力体制を築く必要があります。

この観点から JaNP+では国外の HIV 陽性者や関連団体とのネットワークを重視し、国際会議等への参画も積極的に行っています。

国際会議への参加

2016 年 5 月 21 日に開催される APN+（アジア太平洋地域の HIV 陽性者ネットワーク組織）の会議に、日本代表として大島が参加予定です。会議では APN+総会（活動報告、決算、役員選任等）が行われるほか、各国での課題と当事者の立場からの取り組みについての情報共有や意見交換が行われる予定です。

主要国におけるHIV陽性者の入国規制に関する情報提供

HIV 陽性者が抱えている不安の一つに、海外への渡航に際する入国の可否があります。そこで、英語で提供されているウェブサイト“HIV Travel”の情報をもとに、日本と往来の多い主要な国々について和訳し、リストとしてウェブサイトにアップしています。

残念ながら、国によっては法律上の規制と運用の実態が異なる場合もあり、このリストのみをもって入国できるかどうかを判断しにくいこともありますが、少なくとも当事者が渡航を判断する際の参考になるよう、情報提供をしています。また、HIV に対する差別や偏見の現状を知って頂くきっかけにもなるでしょう。

年に数件ですが、HIV 陽性者や医療機関から、こうした入国規制に関するご相談が寄せられています。

URL：http://www.janpplus.jp/project/international_network

その他

＜活動実績＞

日付	内容
10 月 20 日	韓国 CDC（疾病予防対策センター）との意見交換会に参加
12 月 2 日	エイズ予防指針に関する意見交換会に参加
2 月 5 日	「GGG+フォーラム 2016：G7 サミットとグローバル・ヘルスの課題」 安倍晋三内閣総理大臣表敬訪問に出席

メディア対応

活動の性格上、JaNP+にはテレビ、新聞、雑誌など様々なメディアからの取材依頼があります。しかし、これまでに行われてきた HIV・エイズに関する報道は、HIV・エイズおよび HIV 陽性者に対する差別や偏見と密接に関わっており、それらは良くも悪くも現在の私たちに大きな影響を及ぼしてきました。

近年では、エイズ・パニックの時代と比べて HIV・エイズに関する報道自体が少なくなっています。マスメディアを通じて大げさに取り上げることが、当事者である私たちにとって必ずしも有益であるとは考えていませんが、マスメディアの影響力は、他の活動では届かない人々にも語りかける機会として無視できないものです。また、取り組み方によっては、私たちのミッションである「HIV 陽性者があたりまえに生きられる社会の実現」にも寄与できると考えています。

このため JaNP+では、これまでの活動を通じた経験を活かしながら、機会をとらえて様々なメディアからの取材依頼に対応しています。

メディア出演・取材実績

今年度は、以下の各メディアにおいて、HIV 陽性の当事者の声や JaNP+の活動について取り上げていただきました。

日付	媒体名
2015 年 8 月 8 日	「神奈川新聞」記事掲載（AIDS 文化フォーラム in 横浜）
2015 年 9 月 12 日	TBS ラジオ「土曜朝イチエンタ。堀尾正明+PLUS!」 スピーカー活動について取材
2015 年 11 月 12 日	読売新聞社「ヨミドクター」取材

アドボカシー

JaNP+では、HIV 陽性者の権利擁護と行政等への参加・意見反映といった観点から、HIV 陽性者のエイズ対策へのより広範な関与（GIPA：Greater Involvement of PLWHA）を活動の柱としています。

広い意味では、ジャンププラスの活動全体がアドボカシーにつながるものですが、ここでは特に、政府および行政への働きかけや協働についてご報告します。

要望書の提出、署名等

2015 年度は、「HIV Futures Japan」の調査結果とその分析をもとに、全国の HIV 陽性者や研究者らと会議やメールでディスカッションを重ね、当事者の視点から厚労省への要望事項をまとめました。

2016 年度は、この要望書を厚生労働省等に提出することを予定しています。また、厚労省以外にも必要に応じ当事者の立場からの要望を行っていくことを検討します。

東京都エイズ対策への参画

代表理事の高久が東京都エイズ専門家委員および東京都エイズ啓発ポスター審査員を務めました。

＜活動実績＞

日付	内容
9 月 3 日	東京都エイズ啓発ポスター審査会
2 月 25 日	東京都エイズ専門家委員会

その他

2015 年 10 月 23 日、厚生労働省健康局に新設されたエイズ対策推進室を訪問しました。

広報・事務局ほか

ニュースレターの発行

ニュースレター第 25 号～第 27 号を制作、発行しました。

ニュースレターは 5000 部を発行し、多くのボランティアスタッフの協力のもと、全国のエイズ治療拠点や NGO、各種会員等に広く配布しています。また、WEB サイト上でも読むことができるようになりました。

2016 年度は、企業による広告掲載のほか、前年度に続き公益財団法人エイズ予防財団の助成を受けることができ、HIV 陽性者とその周囲の方々に向けた情報誌として発行を継続していきます。

WEBサイトの運営

おもに JaNP+の活動についてお知らせするオフィシャルサイトを適宜更新しています。

事務局運営

事務局では、外部との窓口対応のほか、各プロジェクトにおける印刷物や資料の発送、イベントの会場手配や備品などの準備、アンケート集計、事務所の管理、会計、NPO 法人関連の事務手続き等を行いました。

寄付・助成

寄付・助成

2015 年度も多くの企業や団体、個人の皆様より寄付および助成をいただきました。おかげさまで、本書でご報告させていただきましたような活動を継続、前進させることができます。あらためまして、ご支援をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

＜寄付企業＞

ヴィーブヘルスケア株式会社、鳥居薬品株式会社、Living Together 計画

※個人の方からのご寄付については、プライバシー保護のためお名前の掲載を控えさせていただきます。

＜助成＞

助成元	対象プログラム
未来支援委員会	HIV 陽性者による HIV 陽性者のための居場所づくり事業
エイズ予防財団助成事業	エイズ患者・HIV 感染者向け情報誌発行事業

Cross Border Cafe

2013 年度にスタートした、JaNP+のファンドレイジングと多様な人々の交流を目的としたカフェ・イベント「Cross Border Café」。

毎回テーマをもとにトークゲストを迎えてのトークショーを中心に、歌やパフォーマンスを挟みつつ、それぞれに参加者同士での交流を深めました。

特設サイト：http://cafecrossborder.wix.com/crossbordercafe

＜Cross Border Café vol.3 開催概要＞

日時	2015 年 12 月 16 日（水） 18:00～23:00
会場	Time Out Cafe & Diner Tokyo（東京都渋谷区東 3-16-6）
参加要件	どなたでも参加可能
入場料	一般 3,000 円・学生 2,000 円 （1 drink 付き）
トークゲスト	中村うさぎ（作家）
パフォーマンス	オナン・スペルマーメイド、マダム・ボンジュール・ジャンジ、JUZU
来場者数	51 名

＜Cross Border Café vol.4 開催概要＞

日時	2016 年 5 月 1 日（日） 13:00～17:00
会場	AiSOTOPE LOUNGE（東京都新宿区新宿 2-12-16）
参加要件	どなたでも参加可能
入場料	一般 2,000 円 （1 drink 付き）
トークゲスト	東ちづる（Get in toch! 代表・女優）・よしひろまさみち（作家）
パフォーマンス	マダム・ボンジュール・ジャンジ、JUZU
来場者数	48 名
共催	東京レインボープライド